

平成28年度 練馬区立豊玉小学校 学校評価報告書

練馬区立豊玉小学校
校長 中村 豊 印

1 自己評価結果

(1) 根拠となる資料として 教員・保護者・児童の意識調査、高学年の学力調査結果、体力調査結果、保護者からの自由意見、評議員の授業参観の意見等から1年間の教育活動を自己評価する。なお、データ比較としてできるだけ3年間の比較を行う。

(2) 概要（資料説明及び協議会の視点として）

低下傾向にある項目もあるが概ね昨年度と大きな差は見られない。

成果と今後の課題・改善点の視点としては

- 保護者アンケートの提出者が20ポイント増加した。
- 「わからない」と回答する保護者が年々減少傾向にある。一部増えている項目もあるが、数%にとどまっている。特に、情報発信では、高い評価を得ている。
- 挨拶や協力など、人との関わり方についての指導を更に充実させていく。これまでの指導の在り方を見直し、挨拶を含め生活・行動様式の質を高めることも必要である。
- 学力調査の「平均」は概ね良好だが、個人差や基礎基本を更に定着させるための指導に取り組む必要がある。
- 体力調査では、種目によって出来映えに偏りが見られ、本校の課題が明らかになった。
- 児童対象質問「悩みや困っていることを先生などに相談していますか」のポイントが他に比べて低い。いじめ問題への取組、相談体制は、理解が高まってきている。
- 縦割り活動への評価は高い。また活動も定着した。新たな取組が必要である。
- 読書活動推進のために例年以上の工夫を行ったが、児童への啓発に至っていない。

(1) 教育目標の具現化を児童の実態から考える

【学校評価Ⅰ】（教育目標の具現化を児童の実態から考える）

赤字が今年度、下方に昨年、一昨年の評定ポイントを示す。

	具体化の重点具体目標 (評価の観点)	評 定 (3年間の比較)	成果・課題等
考 え る 子	1. 人の話をよく聞き、 自分の考えを発表で きる子になったか	2.6 2.6 2.6	○一定の向上はみられるものの、話す・発表することの個人差への対応が必要。 ○聞き方、聞くルール・態度・マナーの育成が必要。
	2. 基礎基本の学力が 定着している子にな ったか	2.5 2.7 2.7	○前学年の内容の定着が必要、思考力・判断力の課題。 ○個人差への対応、家庭（学習）との連携、低学年も含め放課後学習の時間を更に工夫したい。
ね ば り 強 い 子	3. 体力のある子にな ったか	2.4 2.4 2.4	○「姿勢」を改善する必要がある。→継続課題 ○外遊びの質・量・幅を更に検討する必要がある。 ○体力テストの課題解決のための授業改善・体育活動の再考。
	4. 集中力があり最後 までやりぬく子にな ったか	2.3 2.3 2.6	○個人差がある。個に適した課題・支援や家庭との連携が必要。授業改善や学習マナーを定着させることも必要。
心 ゆ た か な 子	5. みんなと仲よく協 力する子になったか	2.9 3.0 2.9	○仲良くすることは、全体的にできている。更に「協力して活動する」場を設定していく。
	6. 挨拶ができルール を守る子になったか	2.0 2.3 2.6	○学校全体としての取組が今後も必要。挨拶運動等の見直し、定期的・全体的指導の見直し。 ○地域・家庭との連携を更に図る必要がある。

(2) 経営方針の具現化から考える (教職員評価結果と保護者評価結果の両面から集計)

【学校評価Ⅱ】(経営方針をもとにして考える)

		具体目標(評価の観点) ●学校の評価 ☆保護者の評価	評 定 数年間の比較	成果・課題等
地域を大開切かに した外学に 校	1	●学校公開やホームページ等を通して学校の様子を伝えたか	3.4 3.3 3.0	○ホームページ、学級だより等の充実を継続・実施していく。 ※「わからない」0%、ABで100%
		☆学校公開等を通して学校の様子が伝えられている	3.7 3.7	
	2	●地域の人材活用、地域の教材化、地域行事への参加等はできたか	3.2 3.0 2.9	○地域行事等への参加を啓発する必要がある。(継続) ○日本文化、読み聞かせ、昔遊び等、地域の協力を頂き、それを広報する。(継続) ○ボランティアの募集 ※「わからない」8%、4%減少
		☆保護者や地域の教育力を生かした教育活動が行われているか	3.3 3.2	
	3	●保護者会等を通して保護者の意識を受け止めたか ●家庭や関係機関との連携はとれていたか	3.2 3.0 3.0	○今後も支援の必要な児童に対して、組織的に対応していく。 ○対応している内容を保護者に説明する。個別対応を丁寧に行う。 ○必要に応じて関係機関と連携する。 ※「わからない」7%、3%減少
		☆保護者会等を通し保護者の意見を受け止め適切に対応しているか	3.2 3.2	
し教内職に員開がか互れたを信校頼	4	●教育目標を共有化し、組織を生かした活動ができたか	2.9 3.0 3.0	○特別支援教室、支援員、栄養士、給食主事等との連携を今後も図っていく。 ○少人数指導、TT、講師等と更に連携を取り指導する。 ○外部・地域、保護者との情報連携を確実に図っていく。
	5	●合同授業、TT指導、専科教諭との協力はできたか	3.1 3.1 3.0	
	6	●他の職種との相互尊重と連携は図られたか	2.8 2.9 3.0	
学ぶ素晴らしさを実感できる学校	7	●算数の時間の工夫を行い、自ら考え学び合うことができたか。	2.9	○習熟度別の対応、ベーシックドリル等の対応のシステムが整った。 ○個人差への対応は継続課題。 ○今後の道徳の指導について研修済み。今後は、具体的な評価のあり方について実践する。※「わからない」10%、2%減少
		☆道徳の時間等を通して心の教育が十分に行われているか	3.2 3.3	
	8	●教師としての力量の向上は図れたか	2.8 3.1 2.8	
	9	●教科の基礎基本の確実な定着を図ることができたか	2.8 2.9 2.8	
		☆基礎的・基本的な学力の向上が図られているか	3.3 3.3	
	☆家庭学習が定着するように適切な指導が行われているか	3.2 3.0		
	●問題解決学習、体験学習等を意識して学習を行っているか	2.9 3.3 2.9		
自由と規律の	10	●いじめ、問題行動等を予防できたか	2.8 3.1 3.1	○日常の様子を細やかに見取ること、児童との面談を更に増やして理解に努める。 ○未然防止・即解決の方針で取り組む。 ○家庭・学校間の情報共有・協働対応の継続。※「わからない」24%、7%減少
		☆いじめや問題行動に対して適切な指導が行われているか	3.1 2.1	
11	●児童のよさを認め励ます指導の実践はできたか	3.3 3.2	○学校生活全体を通して、一人一人を認め、自信と意欲につなげる。	

ある学校			3.1	「褒める」言葉かけの継続。広報の必要性。
		☆子供のよさを認め励ます指導が十分に行われているか	3.4 3.3	※「わからない」9% 4%増加
	12	●教師の指示の通る学級づくりはできたか	2.8 3.1 2.8	○学級ルールの確立、児童理解を深めること、教師の指示の仕方（技術）の向上。 ○教員間で指導方針を統一していく。
	13	●自浄作用のある学級集団づくりはできたか	2.6 3.0 2.6	○教師の適切な指導のもと継続課題。
特色ある教育活動を推進する学校	14	●縦割り生活班を中心とした異学年の交流は実践できたか	3.2 3.4 3.3	○定着した。 ○「日常の」縦割班活動を充実させる。
		☆縦割り生活班等を通して、異学年の交流が行われているか	3.7 3.6	※わからない2%、2%増加
	15	●日本の伝統文化に親しむ活動ができたか	2.7 2.8 2.8	○講師の先生方の支援を今後もお願いする。（継続）
	16	●言葉を大切にされた指導はできたか	2.9 3.0 2.9	○具体的な行動様式を明示する。 ○日常の言語環境を整える。児童間での言葉遣いへの意識付け、家庭との連携を徹底する。
		☆挨拶や言葉遣い等、言葉を大切にされた教育が行われているか	3.1 3.0	※「わからない」14%、2%増加
	17	●15分間の朝学習は確実にできたか	3.0 2.9 2.9	○指導計画にそった指導を今後も全校的に取り組む。
	18	●健康な身体づくりはできたか	2.7 2.8 2.9	○保護者への健康な身体づくりの重要性を啓発する。（継続） ○体育授業、豊玉独自の運動の工夫を行う。
		☆健康な身体づくりに取り組んでいるか	3.4 3.3	○遊びの質・量を更に向上させる。施設の充実を図る。※わからない2%、2%減少
	19	●地域とのかかわりはできたか	2.8 2.8 2.9	○今後も積極的に地域行事に参加させたり、地域人材を活用したりする。
	20	●授業改善をめざした研究授業はできたか	2.7 3.0 2.9	○校内研究では分科会を中心によりよい授業となるようにする。外部の研究も取り入れて授業の質を向上させる。
21	●豊玉スタンダードは定着したか	2.9	○全教員で徹底して取り組む。 ○保護者への啓発も図る。	
22	☆子供の安全確保のための対策がとられているか	3.4 3.5	○安全教育を推進する。（継続） ○施設・設備の点検・改善、不要物品の廃棄（継続）※わからない4%、2%増加	

(3) 児童の評価

1. 学校に来ることが楽しいですか。

A	B	C	D	
54	38	5	3	3.4
56	35	6	3	3.5
59	34	4	3	3.5

2. めあてや目標をもって、学習したり生活したりしていますか。

A	B	C	D	
36	53	9	2	3.2
35	55	8	2	3.2
35	57	6	2	3.2

校生活アンケートの結果（児童 3年生～6年生）数字は%

3. 進んで読書をしていますか。

A	B	C	D	
41	37	15	7	3.1
44	36	15	5	3.2
42	42	9	7	3.2

A とても思う
B だいたい思う
C あまり思わない
D 思わない

4. 進んで学習に取り組んでいますか。

A	B	C	D	
47	47	6	1	3.4
45	48	5	2	3.3
41	51	6	2	3.2

5. 勉強が分からないとき、先生に質問したりや友達に聞いたりしていますか。

A	B	C	D	
47	40	9	5	3.3
51	41	4	4	3.4
52	36	5	7	3.3

値はポイント換算したもの (Aは4, Bは3, Cは2, Dは1)

6. 悩みや困っていることを先生などに相談していますか。

A	B	C	D	
27	44	12	17	2.8
37	41	7	15	3.0
35	38	9	18	2.9

7. 進んで運動したり外で遊んだりしていますか。

A	B	C	D	
63	28	7	2	3.5
68	25	6	1	3.6
48	39	9	4	3.3

各設問の上段が今回の数値。以下昨年、一昨年の数値を示す。

8. 進んであいさつをし、正しいことばづかいをしていますか。

A	B	C	D	
42	48	9	1	3.3
38	53	7	2	3.3
44	46	8	1	3.3

9. 友達のことを思いやり、進んで親切にしていますか。

A	B	C	D	
50	44	5	1	3.4
51	46	2	1	3.5
50	45	3	1	3.4

10. たてわり班での遊びや活動に協力し、楽しくできていますか。

A	B	C	D	
69	26	2	3	3.9
63	33	3	1	3.6
68	27	4	1	3.6

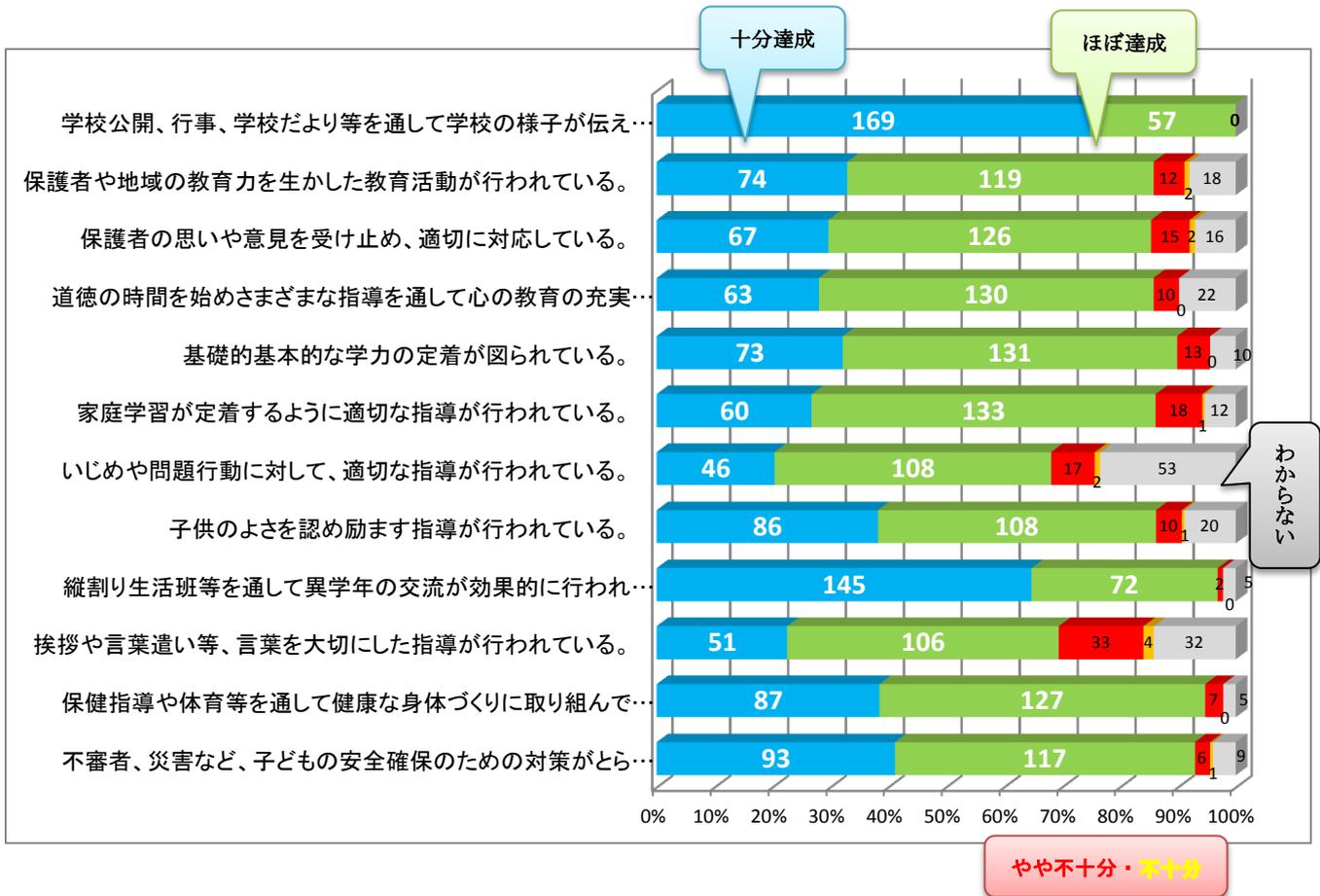
11. 学校のきまりを守り、安全に気を付けて行動していますか。

A	B	C	D	
59	36	4	1	3.5
53	43	3	1	3.5
51	42	5	2	3.4

12. 友達と協力し合って楽しい学級をつくらうとしていますか。

A	B	C	D	
56	39	4	1	3.5
58	37	2	3	3.5
61	34	3	1	3.5

保護者アンケートの一覧表（数字は人数）



2 学校関係者評価

平成29年1月28日、地域・学校評議員、保護者の代表を招き、「第2回 学校関係者評価・地域教育懇談会」を行い、平成28年度の学校評価と次年度の教育計画についての報告と協議・意見交換を行った。

始めに校長から、各データ説明とそれに基づいた来年度の具体的な方針を説明した。

【来年度の総括的な目標】これまで「わからない」方の人数を減らすことに目標を置いてきた（グラフ、グレー）。今後は、ポイント換算すると見えない「やや不十分・不十分」（赤・黄色）の声を減少させる取組を考えていく。

<主な意見・指摘>

① 展覧会について

- 体育館での展覧会が素晴らしい。各テーマともはっきりしている。明るい色使いであった。空間利用が素敵である。ここに来るまでの先生方のエネルギーは大変なものだったろう。感謝。
- （展覧会で）展示物を倒してしまい、直してあげても素通りの保護者がいた。大人の対応が（見逃し、放置）の姿勢があいさつにもつながってしまうのではないか。
- テーマやねらいにそった展覧会となっている。発達段階がよく分かる展覧会である。
- 空間を上手に使った展覧会であった。各教室を参観する方法よりも見やすい。
- 焼き物の作品展示は、豊玉小では近年珍しい。12年間は見えていない。

② あいさつについて

- あいさつは、最近していると思う。地区祭では、「ありがとうございます」「ごちそうさ

ま」ときちんと言っていた。

- あいさつをこちらからしても返ってこないこともある。ねりっこひろばでは子供からしてくる。その時のテンションの違いもあるのでは。町で会うと声をかけてくれる子もいる。大人があきらめないことが大切である。
- 知らない人に挨拶をしないのは、安全上しかたがない部分もあるのではないか。

③ その他

- 体力の停滞は、運動のコツがわかっていないためもあるのではないか。
- チャイムで行動の切り替えができています。落ち着いた授業ができています。
- 教室内の机配置が工夫されている学級もあった。
- 保護者参加の体験学習（七輪体験）をした時に、子供たちとのつながりができた。
- 全体を通して、学校が活発になってきていると感じる。

3 評価結果の公表等

- (1) 前年度の学校評価をもとに作成した学校経営方針を学校説明会（全保護者対象、4月）を開催して、保護者・地域に公表する。
- (2) 学校ホームページへの掲載、新年度保護者会等の資料として公表・活用する。
- (3) 学校公開、学校行事でのアンケートについては、随時「学校だより」や学校評価結果として公表していく。

4 次年度の学校改善に向けた校長の見解 11の方針

- (1) 広報について 今後もホームページ、学校だより等で学校からの情報発信、頂いた保護者等の声を公開していく。
- (2) あいさつ等について これまで中学校と連携したり、児童会活動の中で取り組んだりしてきた。今後は、更に多くの児童が挨拶運動に参画できるようにし、人との関わり方について経験させていく。また、「姿勢を正す」ことを継続して指導するとともに、言葉遣い、掃除、雑巾がけ等「基本的な行動様式」を身に付けさせていく。
- (3) 学力向上について 個人差や基礎基本を更に定着させるための指導に取り組む。特に保護者の了解を得て、取り出し指導も継続していく。
- (4) 体力向上について 運動・遊び「場」と「時間」の拡大、「用具」の充実に努めてきたが、更に、環境整備・体育的活動の時間を含めた指導内容の改善・工夫に取り組んでいく。また保健の授業を含め、健康課題について保護者と連携して取り組んでいく。
- (5) 保護者・児童との面談について 今年度から保護者面談の回数を増やした。いつでも面談できる雰囲気も整えていく。また、教師が児童にとっての「相談役」となれるよう、個人面談の回数を増やし、担任と子供との相談体制を充実させる。
- (6) 縦割り活動について 体制・内容ともに定着した。校内での活動をより充実させる。全校遠足等の在り方についても改善を図っていく。
- (7) 読書活動推進について 例年以上の工夫を行ったが、児童への啓発に至っていない。今後は、児童へのPRを充実させていく。
- (8) 諸行事について 開校140周年では各行事において例年よりも工夫を凝らして内容を構成した。その考え方・経験を生かして、今後も児童の発達段階に合わせ、楽しめる行事にするために教職員で工夫・アイデアを出し諸行事を構成する。
- (9) 道徳授業について 今後も道徳の授業の内容について公開していくとともに、親子で学ぶ道徳授業も企画・実施していく。
- (10) 次期学習指導要領について 授業時数や内容に対応するための諸準備、試行を行う。
- (11) 地域との連携について 地域の教育力・人材を更に活用するとともに、幼保中との取組を継続・発展させる。